

## 第88回教育課程小委員会議事録

1 日時 2022年10月15日(土) 20:00-21:15

2 参加(敬称略)

(地学系) 瀧上、田口、根本、畠山、南島、宮嶋、矢島

(地理系) 秋本、井田、高橋 (オブザーバー) 阿部、林

3 議事

次期パブリックセッションのコンビーナー一団から、スコープの提案がなされた。内容的には良いが、パブリックセッションに相応しい表現になっていないとの指摘がなされ、1週間後をめどに再提案をすることになった。また標題に関しても、防災教育について一般市民が聞いてみたくなるような表現を検討することとした。

4 WGの活動

◇学習指導要領(主な意見)

- ・学ぶべき内容(コンテンツ)は出揃っている感じがする。内容の是非について提言するより、運用について連合が支援することに意味があるのではないか。
- ・理科は災害のメカニズム、地理は災害への対応について棲み分けをするべき。
- ・理科的な観点と地理的な観点と両方が必要で、理科の授業なら理科的な観点到重点を置くが、地理的な観点も触れておく必要はある。双方の観点を教員が理解しておくことが必要。
- ・各教科はその教科の論理で話がまとまっているが、各教科にまたがる防災教育では、バラバラ感が否めない。ここをどう昇華して行くのか。

◇教科書検討

- ・WGのチーフを置くのではなく、各分野のコーチ制にしてWGを運営する。必要な分野の人材を集めてゆく。
- ・分析に使う教科書をどう入手するかが問題である。研究費の申請機会が小中高教員より多い大学教員に外部資金獲得の協力を要請したい。

5 次回小委員会

土日ごとではなく、1カ月後をめどに、平日も含めた集中的な1週間について各委員の都合を聞いて調整する。今回は試験的にこのやり方を行い、是非を吟味する。